

|       | 10月  |      |      |        | 11月  |      |      |        |
|-------|------|------|------|--------|------|------|------|--------|
|       | 最高気温 | 最低気温 | 平均気温 | 雨量(mm) | 最高気温 | 最低気温 | 平均気温 | 雨量(mm) |
| 本年    | 27.5 | 21.9 | 24.4 | 30.5   | 25.6 | 18.8 | 22.1 | 149.0  |
| 平年    | 27.6 | 22.1 | 24.7 | 182.7  | 23.7 | 18.2 | 20.9 | 169.9  |
| 平年との差 | -0.1 | -0.2 | -0.3 | -152.2 | +1.9 | +0.6 | +1.2 | -20.9  |

### 年頭のご挨拶

代表取締役社長 金子 勇人  
生和糖業株式会社



皆様、新年おめでとうございます。

平成27年9月18日の株主総会で代表取締役社長に就任いたしました金子勇人でございます。当社は、喜界島の豊かな自然の中で基幹作物であるサトウキビを原料に製糖業を営むことで喜界町に永年に亘り貢献してまいりました。広く日本の砂糖事業を取り巻く環境は、TPP交渉が進み、重要5品目と報じられるなど輸入精製糖の関税が議論され、国内砂糖制度、国内農業政策への影響がどうなのか、私ども国産製糖事業としても注視する必要があります。喜界島のサトウキビ畑が緑鮮やかに伸びやかに育ち、皆様が元気に明るく過ごしている景色が持続していく事、そのために当社は安全に効率的に砂糖をつくり、更に何をして社会や環境に貢献することができるか考えてまいります。喜界町においては様々な農作物、畜産などで発展していくことを望んでいますが、基幹作物であるサトウキビの増産にご協力いただき、よく手入れされた圃場になるよう農家の皆様と共に努力したいと思いますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

それでは何より、今製糖期の安全・安定操業に努力いたしますので、サトウキビの収穫から工場への搬入など皆様と一緒に連携してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

生和糖業株式会社  
取締役工場長 菅 靖治



皆様、あけましておめでとうございます。

新しく取締役工場長として就任しました菅（すが）と申します。喜界工場長として喜界島の重要産業である、サトウキビから砂糖を作る大事な役割を、これから一生懸命務めさせていただくつもりです。農家の皆様、糖業に関わる関係者の皆様に、ますますのご協力を頂きます様、どうぞよろしくお願い申し上げます。今期のサトウキビは、農家の皆様はじめ関係者全員でのご努力のおかげで、生育が良く、また天候に恵まれ、高糖度で収穫量も平年水準を超える予定です。久々の豊作型操業が期待されています。

工場では、十分な整備を行い、操業開始後、安全に安定した砂糖生産を目指してまいります。新鮮なサトウキビをコンスタントに刈り取り・搬入していただき、効率良く砂糖を産出していく事が、喜界島の経済および皆さんの生活向上へ必ずや寄与するものと信じております。今製糖が、喜界島にとってすばらしいものになり、喜びを分かち合う製糖終了日を迎えられますよう、皆さんと共に頑張っていく所存ですので、これからよろしくお願ひいたします。

### さとうきび生産振興大会 開催される

12月8日(火)自然休養村にて生産者、関係機関が参集し開催されました。冒頭、川島町長より昨年のキビは64,397tと低迷したが、本年はワタアブラムシの発生以外は茎長、茎数も良く豊作である。キビは島の基幹作物で経済を支える柱、宝でもある。今後も永続的に安心して栽培が出来る様、関係機関に取り組んで頂きたい。併せて農業共済への加入向上や今製糖期が無事故で終了しますようにと述べ締めくくった。講師による株出管理作業、緑肥栽培についての講演終了後、最後に弊社金子社長より今期の生産見込について83,000t(弊社処理量)前期実績64,397tを18,603t上回る129%。11月下旬の圃場Bx調査においても20度を超えて、量、質共に良好な状況にあり2年振りの年内操業を行なうとの報告がありました。

### 今期の操業計画

キビ処理見込 83,000 t  
搬入圧搾開始 12月15日  
操業期間 12月15日～3月末日予定  
洗缶整備 2月初旬(2日間) 予定



### 一芽苗配布についての案内

今期も株出単収向上対策として一芽苗の配布を予定しています。近年、株出面積は増加していますが、単収が低下しています。補植を行い茎数を確保し単収向上に努めましょう。  
**配布は来年3月からの予定です。詳細は行政無線等でお知らせします。**

限られた、栽培面積の中で  
単収向上を図るには補植  
による茎数確保が大事です。



### 新農薬の案内



### フレバソン 粒剤

前年の冬と今年の夏に配布した  
サムコムフロアフル水和剤と同じ成分です。

#### 特徴 **メイチュウ防除に効果があります。**

- 新規有効成分リナキシビルを含有し、既存の薬剤抵抗性害虫にも高い効果を発揮します。
- チョウ目害虫に対して、約4週間の殺虫効果が期待できます。  
(チンチバクには効果がありませんのでご注意ください。)
- 粒剤タイプなので簡単、手軽にセル苗処理、株元散布することができます。
- 適用作物に対して安全性が確認されています。

#### 有効成分

- クロラントラニリブール(通称:リナキシビル)・・・0.5%



同じ薬剤には使用限定があるので、**スミチオンやオコノク、ガゼット、アドバンテージ**等の他の粒剤と組合せて使いましょう。

メイチュウ類の防除と肥培管理を行ない  
収穫面積の拡大と収量アップ、品質向上  
に取組み不作から脱却しましょう！！

## 適期株出管理の効果について

### <現状>

近年、プリンスベイト剤の普及と株出萌芽性の優れた品種も増加した。これらの要因により、多回数株出が増加し株出栽培面積と収穫面積も増加した。

### <課題>

収穫面積は増加しているが、株出管理の遅れや管理作業をする農家も少なく、単収は低下し生産量は低迷している前年4.675t。かつては単収8t台を維持し群島内で1番の単収を誇った島であった。株出栽培における管理作業（中耕、培土）については40%に留まっている。

### <適期株出管理作業による効果>

下図はN i F 8の収穫直後の管理作業の実施と4月下旬の株出し管理作業を実施した茎数、茎重の比較表です。

| 株出管理時期 | 原料茎数 |     |
|--------|------|-----|
|        | 本/a  | 対比% |
| 収穫直後   | 912  | 114 |
| 現地慣行   | 798  | 100 |

| 株出管理時期 | 原料茎重 |     |
|--------|------|-----|
|        | kg/a | 対比% |
| 収穫直後   | 767  | 115 |
| 現地慣行   | 668  | 100 |

- ★ 収穫直後：収穫後1週間以内に株出し管理作業を実施。
  - ★ 現地慣行：収穫後放置して、4月下旬に株出管理を実施
- 資料：県農業開発総合センター

**適期の管理を実施することで茎数、茎重がアップし収量も10%以上増加します。**

### 株揃えのメリットについて

- 刈取り位置を切り下げ下位節位から萌芽し、茎の太いキビになる。
- ハカマ除去で日光が確保され地温の上昇に伴い、萌芽性が良くなり茎数も多くなる。
- 株上りがりが無くなり、次年度の株出しも可能となる。
- 欠株箇所がわかり易く、補植作業も効率的になる。



### 中耕のメリットについて



- 水分、養分、空気が循環し、根も活性化してエネルギーを作り出します。
- エネルギーで養分を作り地上部へ運び、新しい根を伸長させます。
- 空気（酸素）が不足すると根の働きは衰え、水分・養分・空気が根は活性化・発達する。

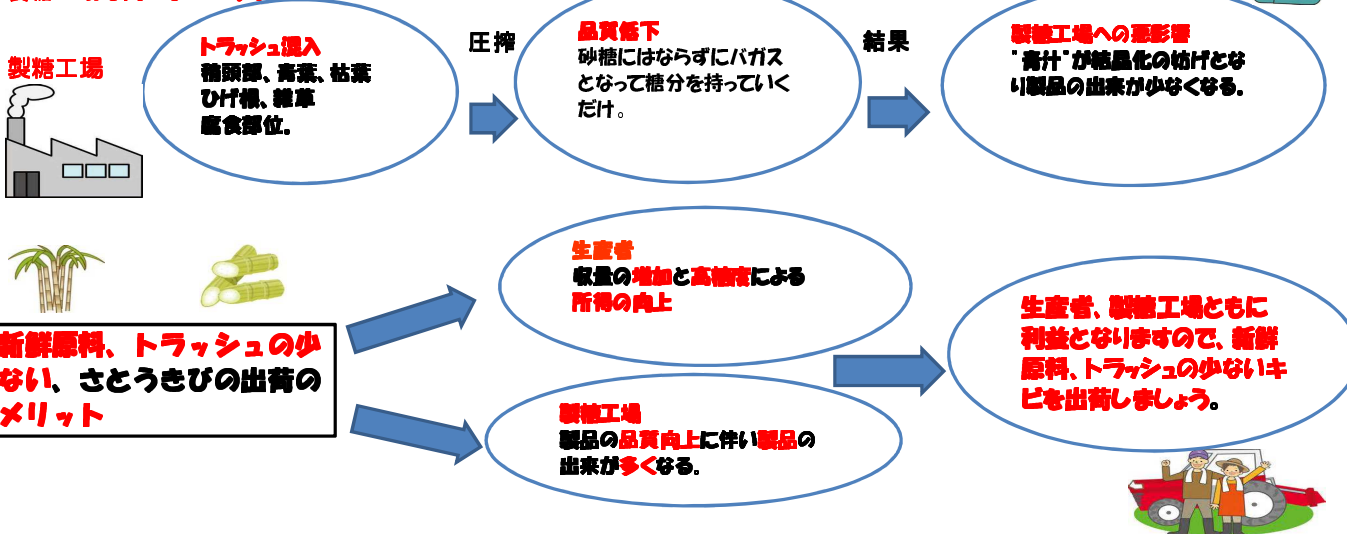
中耕作業を行なうことが、根の促進には重要な役割を果たしています。百聞は一見にしかずです。ぜひ実践してみてください。

### トラッシュ低減について

トラッシュとは“夾雑物”と言い、目的とするもの以外の混雑物の意味です。糖頭部、青葉、枯葉、ひげ根、腐食部、土等です。

何故、トラッシュを少なくして出荷するのか？

搬入されたキビはでトラッシュ類を除去するため開発組合が運営するデトラッシャー（ハーベスタ収穫のみ）を通り、工場へ運ばれます。トラッシュ類が全て除去されるのではなく、その内55%位は除去されずに、工場へ流れていきます。その量は今期83,000tで換算すると4,500tにもなります。このトラッシュが入る黒砂糖は苦味、臭み、カビ臭が入り品質が悪くなるのは黒糖工場の方はおわかりですね。製糖工場も同じなんです。



### 編集後記

今期のさとうきびは気象条件にも恵まれ、各島で豊作が予想されています。本町においても2年振りの年内操業が始まり、いよいよ、島が活気付きます。会う人、会う人、今年のキビはいいねと顔をほころばせて話してくれます。これも皆さまの努力した結果が、豊作をもたらしたもので嬉しい限りです。さて、本年は8月下旬に台風15号が接近、通過後は大きな気象災害も無くキビは順調に生育しました。一方で奄美、沖縄は台風常襲地域であり、キビの被害も十二分に予想されます。「大きな自然災害が襲来した影響でキビは減収した。」と云うことが無いよう5年、10年先を見通した暴風対策（防風林）をしっかりと施し、災害に強いキビ作りをして頂きたい。併せて農業共済も「もしもの備えです」忘れずに参加して安心した農業経営をして頂きたいものです。